

Ⅱ. 調査結果の要約

1 日常生活

(1) 住みごころ

◇【住みよい(計)】は9割、【住みにくい(計)】は7%

金沢区の住みごころは、「住みよい」(39.9%)が4割で、「まあ住みよい」(51.3%)が半数を超え、この2つを合わせた【住みよい(計)】(91.3%)は9割を超えている。一方、「住みにくい」(1.0%)と「あまり住みよくない」(5.7%)を合わせた【住みにくい(計)】(6.7%)は1割に満たない。

(1-1) 住みよい理由・住みにくい理由

◇住みよい理由は、「自然環境」が8割弱で、「交通の便」が過半数、「買い物の便」が4割強
住みにくい理由は、「交通の便」が6割に近く、「買い物の便」が過半数

【住みよい(計)】と答えた方の理由は、「自然環境」(77.0%)が8割弱で最も高く、2番目が「交通の便」(56.7%)で半数を超え、3番目が「買い物の便」(43.6%)で4割台半ばに近い。

一方、【住みにくい(計)】と答えた方の理由は、「交通の便」(58.4%)が6割に近く、「買い物の便」(52.0%)が半数を超えている。

(2) 定住意向

◇【定住意向】は8割台半ばで、【転出意向】は6%弱

金沢区での定住意向については、「ずっと住み続けたい」(42.5%)と「当分は住み続けたい」(41.1%)がともに4割を超え、この両者を合わせた【定住意向】(83.6%)は8割台半ばとなっている。一方、「よそへ移りたい」(0.9%)と「できればよそへ移りたい」(4.6%)を合わせた【転出意向】(5.5%)は1割に満たない。

(3) 生活環境の施策満足度

◇【満足(計)】は、<最寄駅への利便性>が7割で、<ごみの分別収集の取組>が3人に2人

【不満(計)】は、<駅周辺の駐車場整備>が3人に2人、<駅周辺の駐輪場整備>が5割台半ば

「満足」は<最寄駅への利便性>(29.9%)が3割で、<ごみの収集頻度>(25.6%)と<ごみの分別収集の取組>(24.8%)の2つがともに4人に1人となっている。<自宅周辺の身近な道路の整備>(19.2%)と<自宅周辺のバス路線の整備>(19.0%)の2つが2割に近い。また、これに「やや満足」を合わせた【満足(計)】では<最寄駅への利便性>(69.3%)がほぼ7割で、<ごみの分別収集の取組>(66.1%)と<ごみの収集頻度>(64.1%)の2つが6割台半ば、<自宅周辺の身近な道路の整備>(54.8%)が5割台半ばである。

「不満」は<通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備>(44.3%)が4割台半ばで最も高く、<通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備>(31.5%)が3割強、<自宅周辺の身近な道路の歩行者安全対策>(23.0%)が3割強となっている。また、これに「やや不満」を合わせた【不満(計)】では、<通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐車場整備>(66.1%)が3人に2人で、<通勤・通学・外出で利用する駅周辺の駐輪場整備>(56.6%)が5割台半ば、<自宅周辺の身近な道路の歩行者安全対策>(51.2%)と<ごみの不法投棄対策やまちの美化対策>(50.9%)の

2つが過半数となっている。

(4) 力を入れてほしい施策

◇1位「防犯対策」、2位「災害・防災対策」、3位「高齢者のためのサービス」

第1位から第3位までを合算して順位をみると、最も高いのは「防犯対策」(37.5%)で4割に近く、2番目が「災害・防災対策」(24.6%)で4人に1人、3番目が「高齢者が安心して暮らすためのサービス」(21.1%)で2割強となっている。これに続くのは、「ごみの不法投棄対策やまちの美化対策」(17.6%)と「休日診療・救急医療サービス」(16.3%)、「交通安全対策」(15.1%)の3つが1割台半ばを超えている。

2 防犯

(1) 犯罪など安全への不安感

◇【不安を感じる(計)】は4人に3人、【不安を感じない(計)】は4人に1人

金沢区での犯罪など安全への不安感については、「不安を感じる」(25.6%)は2割台半ば、「多少不安を感じる」(50.4%)が半数で、この2つを合わせた【不安を感じる(計)】(76.0%)は4人に3人となっている。一方、「不安を感じない」(1.9%)と「あまり不安を感じない」(21.1%)を合わせた【不安を感じない(計)】(23.0%)は4人に1人に近い。

(1-1) 不安を感じる犯罪

◇「空き巣」が8割台半ば、「ひったくりなどの路上窃盗」が4割台半ば

身近で不安を感じる犯罪としては、「空き巣」(83.8%)が8割強で最も高く、2番目は「ひったくりなどの路上窃盗」(44.2%)が4割台半ばで、これに続く「自動車窃盗、車上荒らし」(33.8%)と「カード情報漏えい・盗難等」(32.9%)の2つが3人に1人となっている。このほかでは、「通り魔」(28.7%)と「痴漢などの性犯罪」(27.8%)の2つが3割に近い。

(2) 犯罪防衛の具体策

◇「夜は人通りの多い道を通る」が3人に2人、「夕方からの外出は点灯したまま」が5割弱

防衛策で最も多いのは「夜間は明るく人通りの多い道を通るようにしている」(67.6%)で3人に2人、次が「夕方からの外出時には点灯したまま出かけている」(47.4%)で半数に近い。これに続く「長期で家を空けるときは新聞や郵便の配達を止めている」(43.6%)と「日没後は早めに自宅に点灯している」(40.6%)、「バックは車道と反対の方に持つようにしている」(40.2%)の3つは4割を超えている。

(3) 犯罪防衛に必要な対策

◇「防犯灯の増設」が6割強、「区、警察、地域の連携」がほぼ4割

防犯のために必要な対策としては、「防犯灯の増設」(61.8%)が6割を超えて高く、続く「区、警察、地域の連携によるネットワークの形成」(39.3%)がほぼ4割で、「防犯カメラの設置」(37.3%)と「区や警察などによる防犯対策に必要な情報の提供」(36.0%)、「地域での夜間のパトロール等の実施」(35.2%)の3つが3割台半ばを超えている。

3 ごみ減量

(1) 「ヨコハマはG30」の認知度

◇【知っている（計）】は8割弱で、【知らない（計）】は2割

「ヨコハマはG30」の認知度は、「知っている」（55.1%）は過半数を占め、これに「だいたい知っている」（23.2%）を合わせた【知っている（計）】（78.3%）は8割に近くなっている。また、「見聞きしたことはあるが、よくは知らない」（11.3%）と「知らない」（9.1%）を合わせた【知らない（計）】（20.4%）は2割である。

(2) ごみを減らすための普段の心がけ

◇「ごみの分別を徹底」が4世帯に3世帯、「詰め替え製品をよく使う」が7割

家庭でのごみ減量のために気にかけていることとしては、「ごみの分別を徹底し、資源を集団回収や市の回収に出している」（74.8%）が4世帯に3世帯で、次の「詰め替え製品をよく使う」（70.0%）は7割である。これに続く「余分なものを買わないようにしている」（48.3%）と「過剰包装は断るようになっている」（48.2%）の2つは半数に近い。

(3) ごみ減量のための対策

◇「企業への製品づくりの働きかけ」が半数に近く、「収集回数を増やす」は4人に1人

家庭ごみ減量のためになすべきこととしては、「企業にごみが出ない分別しやすい製品づくりを働きかけるべき」（46.5%）が最も高く4割台半ばを超え、次の「分別収集の回収回数を増やすべきである」（23.9%）が4人に1人に近くなっている。また、「家庭内で生ごみをたい肥化するようにさらに進めるべきである」（12.3%）は1割強である。

4 区役所との関わり

(1) この1年間に区役所へ行った回数

◇「月1回以上」は6%、「数カ月に1回程度」が4割弱。「行ってない」は2割強

この1年間での区役所への訪問回数は、「月1回以上」が5.6%で、「数カ月に1回程度」（38.1%）が4割弱、「年に1回程度」（32.1%）が3人に1人となっている。また、「この1年の間には行ってない」（22.7%）は2割強である。

(1-1) 訪問の目的

◇「証明書の取得」が6割弱、「住民票の手続き」が3割弱

訪問した方の目的は、「証明書（戸籍、住民票、税等）の取得」（58.3%）が6割弱で最も多く、続く「住民票の手続き」（27.6%）が3割弱、「健康保険や年金の届出・請求手続き」（20.9%）が2割強となっている。このほかでは、「その他の各種制度の申請手続き」（13.6%）と「税金の手続き」（12.0%）の2つが1割を超える。

(2) この1年間での区役所の利用

◇「利用した」が過半数

この1年間に区役所を「利用した」（53.5%）のは半数を超えている。

(2-1) 職員の対応の満足度

◇【満足(計)】は<窓口での挨拶や言葉づかい>が3人に2人

【不満(計)】は<プライバシーへの配慮>が過半数

9項目に分けて聞いたが、「満足」では<窓口での挨拶や言葉づかい>(30.0%)が3割台に乗り、<職員の説明のわかりやすさ>(25.3%)と<電話での挨拶や言葉づかい>(25.0%)の2つが4人に1人で比較的高くなっている。この「満足」に「やや満足」を合わせた【満足(計)】では、<窓口での挨拶や言葉づかい>(64.1%)が6割台半ばで、次の<職員の説明のわかりやすさ>(60.3%)が6割台に乗る。また、<全体としての満足度>(56.3%)は5割台半ばである。

一方、【不満(計)】は<プライバシーへの配慮>(52.7%)が過半数を占め、<書類様式のわかりやすさ>(46.5%)と<窓口での待ち時間>(44.6%)の2つが4割台半ばである。

(3) 区政運営方針の内容認知

◇【知っている(計)】は2割弱

区政運営方針の内容を「知っている」(4.4%)と「だいたい知っている」(14.5%)を合わせた【知っている(計)】(18.9%)は2割弱である。また、「見聞きしたことはあるがよくは知らない」(29.2%)が3割弱で、「知らない」(49.2%)はほぼ半数となっている。

(3-1) 運営方針を知った媒体

◇「広報よこはま区版」が9割で、「町内会回覧」が4割

前問で【知っている(計)】と「見聞きしたことはあるがよくは知らない」を合わせた方に、それを知った媒体について聞いたら、「広報よこはま区版」(89.6%)がほぼ9割と高く、次の「町内会回覧」(40.0%)の4割とともに、この2つが大半を占めている。

(4) 区政についての意見・要望の伝達手段

◇「担当窓口等に電話」と「自治会・町内会を通じて」が2割弱。「意見・要望はない」は3割

意見や要望の伝達手段としては、「区の担当窓口などに電話」(18.8%)と「自治会・町内会を通じて」(18.4%)の2つが2割弱で、「いずれ区が解決してくれるのを待つ」(14.1%)が1割台半ばである。また、「特に意見・要望はない」(30.2%)は3割となっている。

5 情報・インターネット

(1) 区・市情報の入手媒体

◇「広報よこはま金沢区版・全市版」が4人に3人、「町内会回覧板・掲示板」が5割弱

入手媒体としては「広報よこはま金沢区版・全市版」(76.9%)が4人に3人を超えて高く、次の「町内会回覧板・掲示板」(47.3%)が5割弱で、これら2つが大半を占めて、他を圧している。

(2) 『広報よこはま・金沢区版』の閲読度

◇【読んでいる(計)】は4人に3人、【読んでいない(計)】は4人に1人

『広報よこはま・金沢区版』の閲読度は、「詳しく読んでいる」(12.9%)は1割強で、「必要な記事は読んでいる」(61.5%)は6割を超え、この両者を合わせた【読んでいる(計)】(74.4%)は4人に3人となっている。一方、「あまり読んでいない」(16.1%)と「まったく読んでいない」(7.2%)を合わせた【読んでいない(計)】(23.3%)は4人に1人に近い。

(3) インターネットの利用状況

◇「利用している」は半数

インターネットを「利用している」(50.4%)のはちょうど半数となっている。

(3-1) インターネットの利用頻度

◇「日常的に使っている」は3人に2人で、「たまに使う」は3割

インターネットの利用頻度は、「日常的に使っている」(65.6%)のは3人に2人で、「たまに使う」(30.2%)は3割である。

(3-2) インターネットを使う目的

◇「ホームページの閲覧」が8割強、「電子メール」が4人に3人

利用目的では、「ホームページの閲覧」(81.3%)が8割を超え、次の「電子メール」(74.0%)が4人に3人で、この2つが他を圧して高くなっている。このほかでは、「インターネット通信販売」(33.4%)が3人に1人で、「ソフトのダウンロード」(21.1%)が2割強である。

(3-3) インターネットを利用していない理由

◇「必要性を感じない」と「パソコン等を持っていない」がともに4割台半ば

インターネットを利用していない方の理由は、「インターネットを利用する必要性を感じない」(45.6%)と「インターネットを利用できるパソコン等を持っていない」(45.1%)の2つがともに4割台半ばで並んでいる。このほかでは、「操作方法などが難しい」(16.9%)が1割台半ばを超える。

6 記念事業

(1) 「開港150周年」の認知

◇「知っていた」は4人に1人

横浜市の「開港150周年」を「知っていた」(23.7%)のは4人に1人となっている。

(2) 「区制60周年」の認知

◇「知っていた」は1割強

金沢区の「区制60周年」を「知っていた」(11.7%)のは1割強となっている。

(3) 区の記念事業への希望

◇「文化イベント」が5割弱で、「記念誌の発行」が2割強。「記念事業はいらない」が4人に1人

記念事業の内容としては、「文化イベント」(47.3%)は半数に近く、「記念誌の発行」(23.9%)が2割台半ばに近い。このほかでは、「式典」(15.8%)と「スポーツイベント」(15.1%)が1割台半ばである。また、「記念事業はいらない」(24.3%)は4人に1人となっている。

(4) 記念事業への参加意向

◇【参加したい(計)】が4割弱で、「あまり興味がない」が半数に近い

記念事業には「企画から参加したい」は4%弱、「行事当日のみ参加したい」(35.9%)は3割台半ばで、この両者を合わせた【参加したい(計)】(39.4%)はほぼ4割である。一方、「あまり興味はない」(48.4%)は半数に近い。

(5) 記念事業のアイデア(自由記入)

意見として多かったのは、「歴史の伝承という意味の文化イベントを充実してほしい」や「開港150周年は大道芸人による芸やコンサートのイベントを行なってはどうか」、「開港150周年なのだから、パレードや式典やイベントなど盛大にやってほしい。歴史を伝えるのも重要だと思う」、「全市、全区民が参加できる文化、スポーツイベントがよい。環境に関するイベント海の公園を活かしたものがよい」などである。

7 地域活動・施設利用等

(1) この3年間での社会的活動への参加

◇「防犯・防災に関する活動」などが1割弱。「特に何もしていない」が7割

社会的活動への参加は、「防犯・防災に関する活動(自主パトロール、防災ボランティアなど)」(9.3%)と「自然・環境保護に関する活動(G30、リサイクル活動、環境保護など)」(8.5%)、「福祉保健に関する活動(高齢者保護、給食サービス、保育ボランティア、病院ボランティアなど)」(8.4%)の3つが1割弱で並んでいる。また、「特に何もしていない」(70.8%)が7割強である。

(1-1) 社会的活動をしていない理由

◇「仕事などが忙しく参加する暇がない」が半数で、「興味がない」が2割弱

社会的活動を「特に何もしていない」理由としては、「仕事などが忙しく参加する暇がない」(50.1%)がちょうど半数、次いで「興味がない」(18.9%)が2割弱で、「活動を始めたい、もしくは参加したいが情報がない」(9.5%)が1割弱となっている。

(2) 自治会・町内会への参加状況

◇「参加している」が8割台半ばで、「参加していない」が1割弱

自治会や町内会へは「参加している」(85.8%)が8割台半ばで、「参加していない」(7.9%)は1割弱である。

(2-1) 参加していない理由

◇「加入を勧誘されなかった」が3割弱で、「加入することに利益を感じない」が2割台半ば

自治会・町内会に加入していない理由は、「加入を勧誘されなかったから」(28.6%)が3割弱で、「加入することに利益を感じないから」(26.5%)が2割台半ばを超える。このほかでは、「いろいろな役をやらされそうだから」(15.6%)が1割台半ばで、「近所づきあいが煩わしいから」(9.5%)が1割弱となっている。また、「自治会・町内会がない」(10.2%)が1割である。

(3) 近所づきあいの度合い

◇「ときどき話をする程度」が4割で、「あいさつをする程度」が3割台半ば

近所づきあいの度合いは、「ときどき話をする程度」(40.3%)が4割で、次いで「あいさつを

する程度」(36.4%)が3割台半ばを超えている。「家を行き来し、親しく話をする」(13.7%)は1割台半ばで、「家族のように親しくつきあっている」は3%である。また、「ほとんどつきあいが無い」は4%となっている。

(4) 施設の利用状況と満足度

◇利用度が高い施設は、〈金沢図書館〉と〈金沢公会堂〉、〈地区センター〉が5割前後

評価が高い施設は、〈長浜ホール〉が7割弱、〈地区センター〉と〈コミュニティハウス〉が6割強
施設の利用度が高いのは〈金沢図書館〉(54.3%)が5割台半ば、〈金沢公会堂〉(50.5%)が過半数、〈地区センター〉(49.3%)もほぼ半数で、これらに〈自治会館・町内会館〉(45.6%)の4割台半ばを合わせた4施設が突出している。利用度が低いのは〈保育所〉(5.2%)、〈長浜ホール〉(12.9%)、〈地域ケアプラザ〉(14.0%)などとなっている。

使用しての評価は、「満足」は〈保育所〉(30.9%)が3割台に乗り、〈長浜ホール〉(22.9%)と〈地域ケアプラザ〉(21.8%)が2割を超える。また、「満足」に「やや満足」を合わせた【満足(計)】では、〈長浜ホール〉(69.6%)と〈地域ケアプラザ〉(67.8%)が7割に近い。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた【不満(計)】は、〈金沢図書館〉(18.7%)が2割に近く、〈金沢公会堂〉(12.4%)と〈金沢スポーツセンター〉(11.5%)、〈保育所〉(11.3%)の3施設が1割を超えている。

(5) 区内の公園等の認知

◇「八景島シーパラダイス」や「海の公園」は9割台半ばを超える

区内の公園等の認知度は、高い順に次のようになっている。

①八景島シーパラダイス(96.6%)、②海の公園(95.3%)、③野島公園(91.1%)、④金沢自然公園(金沢動物園)(90.6%)、⑤称名寺(89.6%)、⑥ベイサイドマリーナ(83.3%)、⑦富岡八幡宮(68.3%)、⑧長浜公園(59.1%)

(6) 利用施設と満足度

◇利用度が高い施設は、〈八景島シーパラダイス〉が9割を超え、〈海の公園〉が9割弱

評価が高い施設は、〈金沢自然公園〉や〈八景島シーパラダイス〉〈海の公園〉が4人に3人

利用度が高いのは、〈八景島シーパラダイス〉(91.4%)が9割を超え、続く〈海の公園〉(89.8%)もほぼ9割である。このほかでは、〈金沢自然公園(金沢動物園)〉と〈称名寺〉(ともに79.6%)、〈野島公園〉(78.9%)の3つはほぼ8割となっている。利用度が低いのは〈富岡八幡宮〉(51.2%)が半数で、〈長浜公園〉(45.9%)が半数を切っている。

利用してみたの評価は、「満足」は〈称名寺〉(34.9%)が3割台半ばで比較的高く、〈八景島シーパラダイス〉(32.0%)と〈金沢自然公園(金沢動物園)〉(31.8%)、〈海の公園〉(31.2%)が3割台に乗っている。また、「満足」に「やや満足」を合わせた【満足(計)】では、〈金沢自然公園(金沢動物園)〉(76.9%)と〈八景島シーパラダイス〉(75.7%)、〈海の公園〉(75.2%)が4人に3人となっている。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた【不満(計)】では、〈ベイサイドマリーナ〉(9.8%)と〈野島公園〉(9.3%)が1割に近い。